



# 大学の国際活動に関する 調査結果から

～大学による国際活動促進を目指して～

平成20年2月18日  
文部科学省国際課  
国際協力政策室

# 大学の国際協力活動に関する調査

---

## 目的

我が国の大学の援助リソース(人材や教育研究機能など)が有効に活用されうる環境を整備するため、大学の国際協力活動に関する関心事項及び活動概況を把握する。

## 対象

4年生大学の学部・研究科等(組織)

## 用途

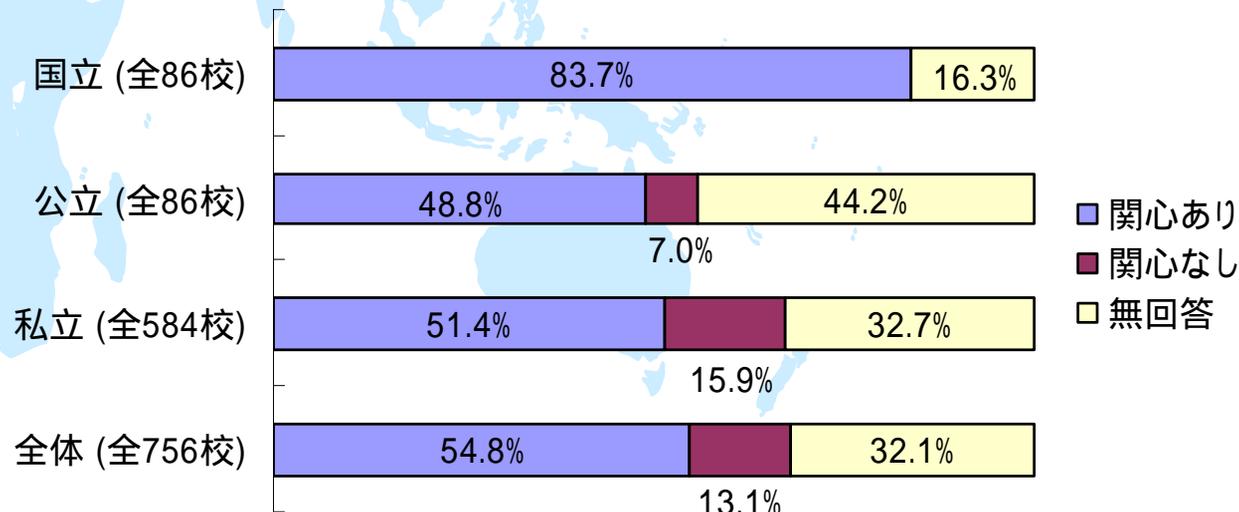
- ・各大学の国際協力活動に有用な情報提供等の支援
- ・大学の国際協力活動に関する情報共有の推進

# 大学の国際協力活動に関する調査結果(1)

## 国際協力活動に関する関心の有無

(対前年度: H18 H19)	国立	公立	私立
回答大学数	79 72	30 48	266 393
国際協力活動への関心大学数	75 72	17 42	124 300

## 国際協力活動に関する関心の割合

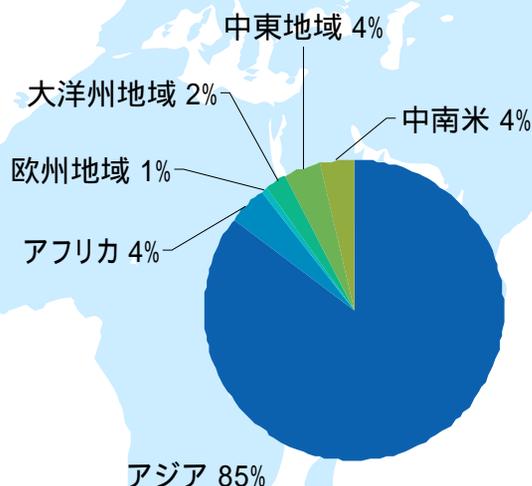


## 関心のある活動内容

留学生受入・教職員派遣・大学間協定交流等・研修員受入・共同研究 など

# 大学の国際協力活動に関する調査結果(2)

## 関係を重視/強化していきたい国・地域



順位	国名	集計
1位	<b>中国</b>	655
2位	<b>タイ</b>	213
3位	<b>インドネシア</b>	155
4位	<b>ベトナム</b>	131
5位	<b>フィリピン</b>	82

順位	国名	集計
6位	<b>インド</b>	75
7位	<b>マレーシア</b>	69
8位	<b>モンゴル</b>	63
9位	<b>ラオス</b>	47
10位	<b>カンボジア</b>	43
11位	<b>ミャンマー</b>	35
12位	<b>バングラデシュ</b>	35
13位	<b>スリランカ</b>	32
14位	<b>アフガニスタン</b>	26
15位	<b>ネパール</b>	21
16位	<b>ブラジル</b>	18
17位	<b>エジプト</b>	18
18位	<b>ケニア</b>	13
19位	<b>メキシコ</b>	12
20位	<b>フィジー</b>	11

順位	国名	集計
21位	<b>アルゼンチン</b>	10
22位	<b>サウジアラビア</b>	10
23位	<b>パキスタン</b>	10
24位	<b>タンザニア</b>	10
25位	<b>東ティモール</b>	9
26位	<b>キルギス</b>	7
27位	<b>ザンビア</b>	7
28位	<b>チリ</b>	7
29位	<b>イラン</b>	7
30位	<b>ペルー</b>	6
31位	<b>カザフスタン</b>	6
32位	<b>パプアニューギニア</b>	6
33位	<b>ウズベキスタン</b>	6
34位	<b>コロンビア</b>	6
35位	<b>南アフリカ共和国</b>	6
36位	<b>エチオピア</b>	5
37位	<b>ウガンダ</b>	5
38位	<b>カメルーン</b>	5
39位	<b>サモア</b>	5
40位	<b>ホンジュラス</b>	5

## アフリカにおける上位10カ国

順位	国名	集計
17位	<b>エジプト</b>	18
18位	<b>ケニア</b>	13
24位	<b>タンザニア</b>	10
27位	<b>ザンビア</b>	7
35位	<b>南アフリカ共和国</b>	6

順位	国名	集計
36位	<b>エチオピア</b>	5
37位	<b>ウガンダ</b>	5
38位	<b>カメルーン</b>	5
42位	<b>モザンビーク</b>	4
43位	<b>ガーナ</b>	4

# 大学の援助リソースに関する調査

目的 我が国の大学の援助リソース(人材や教育研究機能など)が有効に活用されうる環境を整備するため、援助(開発)ニーズの高い分野における大学の有意な援助リソースを把握する。

対象 大学教員等(個人)

用途

- ・有意な援助リソースの附存状況の確認
- ・有意な援助リソースに関する情報共有の推進
- ・国内の援助実施機関に対する人材情報の提供
- ・外国の大学関係者等に対する留学先や共同研究相手情報の提供

本年度実施分野

- ・「教育」
- ・「水・環境」
- ・「保健・医療」
- ・「農林水産」

(来年度追加実施予定分野 ・「工学」)

リソース情報 HP

<http://www.irene-db.org/index.html>

Database of Intellectual Resources and Needs for International Cooperation

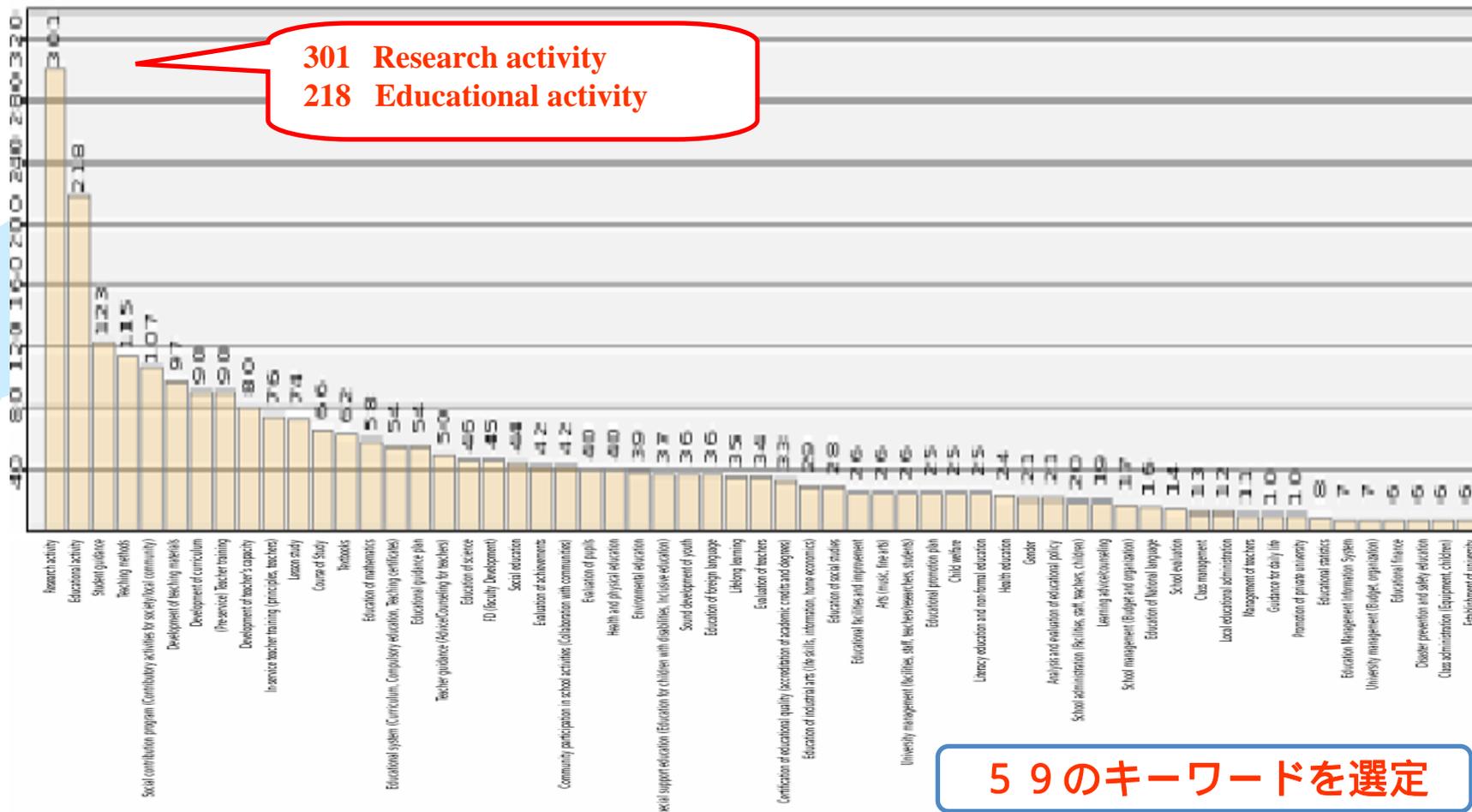


# リソース調査結果(1)(各分野の回答件数)

各分野で設定したキーワード毎に、研修の実施/留学生受入/技術移転/共同研究などの国際協力プログラムの実施への対応可能性について調査

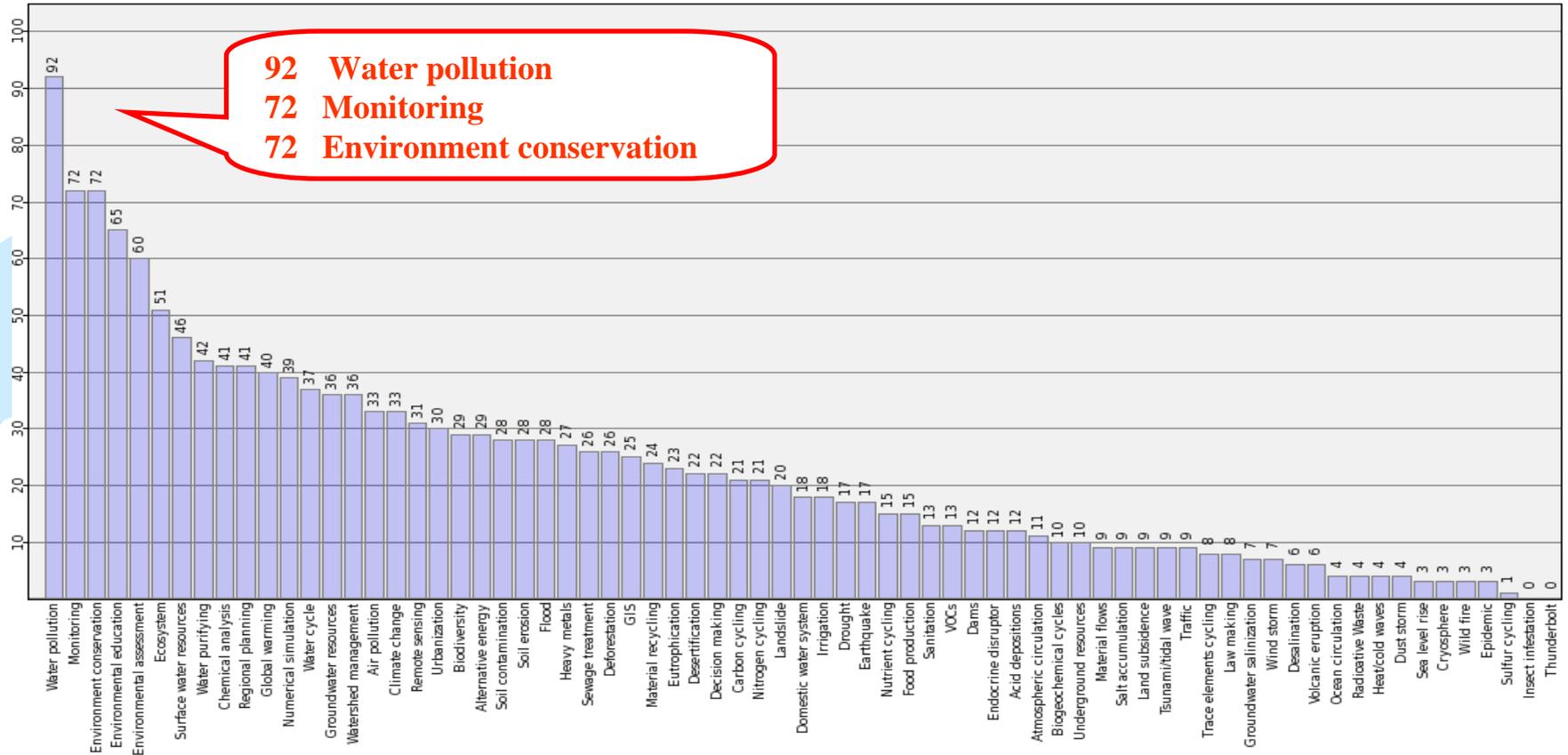
種別 \ 分野	教育	水・環境	保健・医療	農林水産
研修	181	59	132	50
留学生受入	329	119	311	155
技術移転	66	35	71	48
共同研究	103	80	129	77
<b>分野合計</b>	<b>679</b>	<b>293</b>	<b>643</b>	<b>330</b>

# リソース調査結果(2-1) (教育分野のキーワード選択状況)



調査キーワードのスコアリング

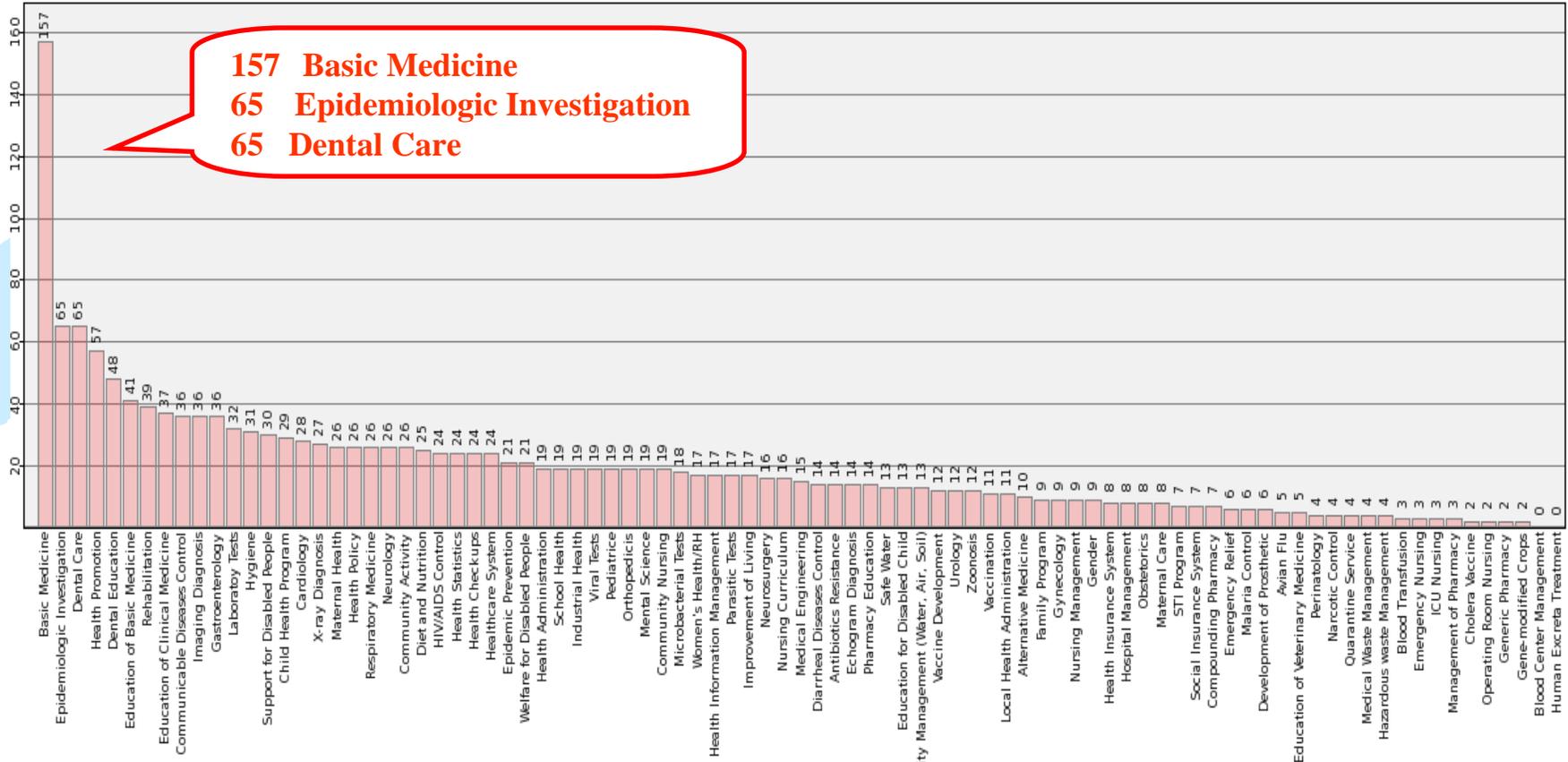
# リソース調査結果(2-2) (水・環境分野のキーワード選択状況)



71のキーワードを選定

調査キーワードのスコアリング

# リソース調査結果(2 - 3) (保健・医療分野のキーワード選択状況)

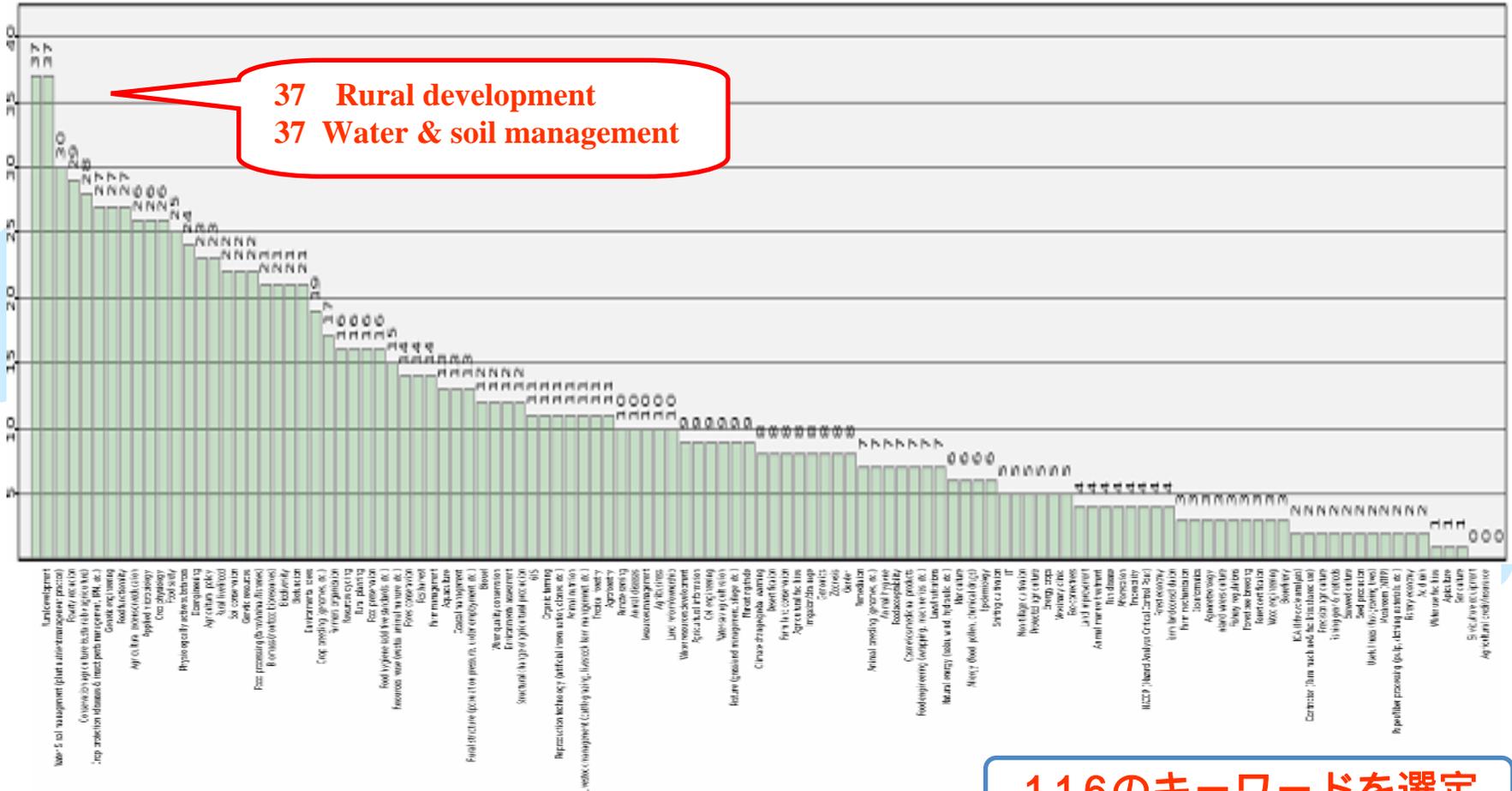


157 Basic Medicine  
65 Epidemiologic Investigation  
65 Dental Care

89のキーワードを選定

調査キーワードのスコアリング

# リソース調査結果 ( 2 - 4 ) (農林・水産分野のキーワード選択状況)



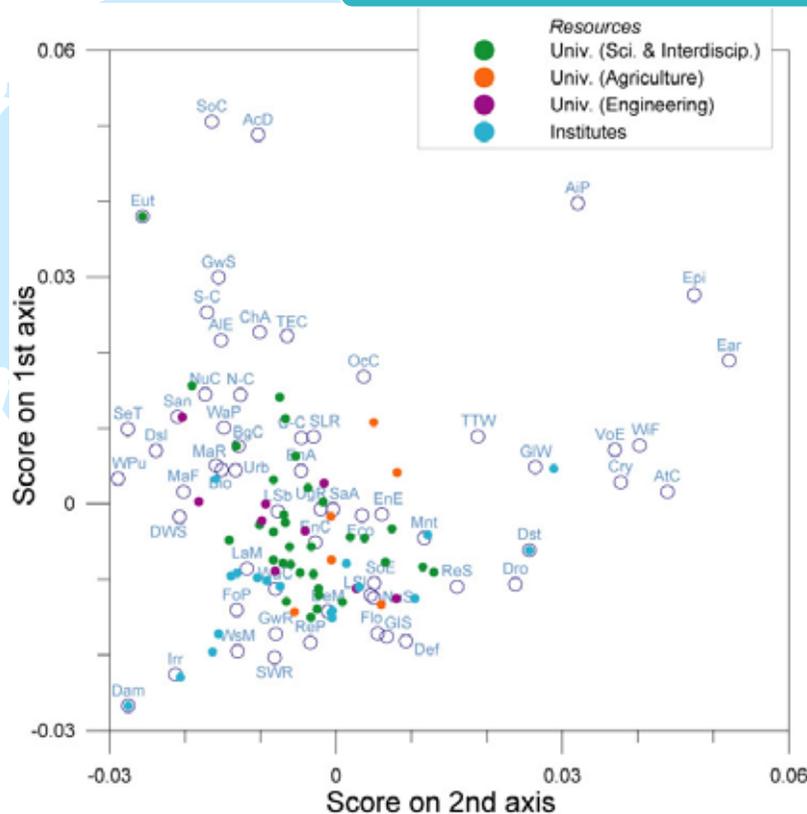
116のキーワードを選定

調査キーワードのスコアリング

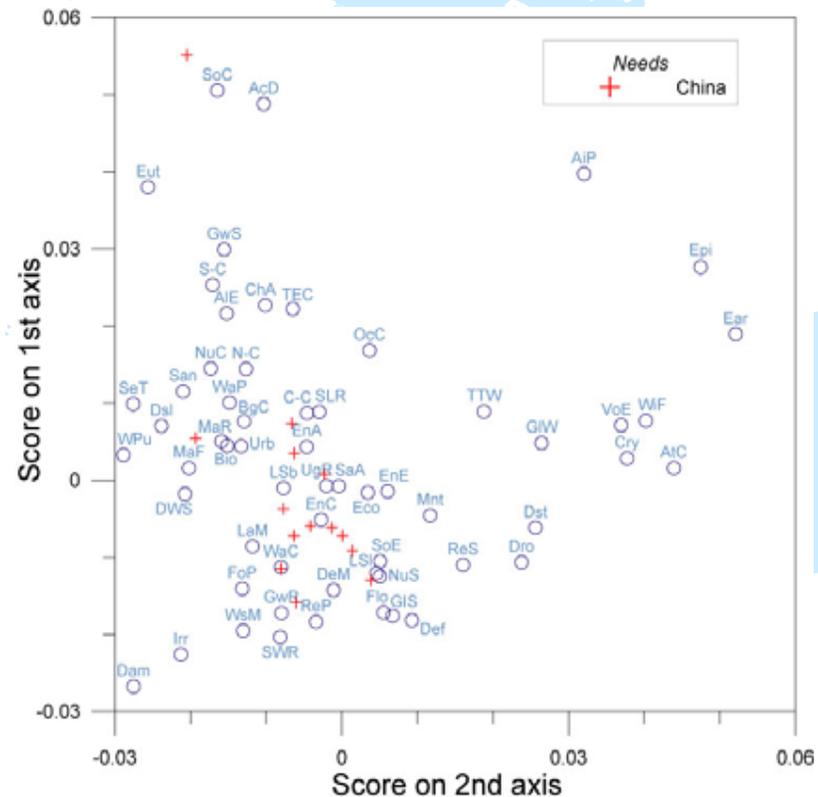
# 今後の予定

途上国の大学等のニーズを調査し、日本のリソースとの位置関係を明確にする。

ニーズ・リソース分布の例(水・環境分野)



日本のリソース分布図



中国のニーズ分布図

(共同研究への要望が多い)

# 今後の展望 (調査結果の活用例)

---

## 政策レベル

- ・ニーズやリソースを踏まえた国際活動の推進(科学技術・学術)
- ・ニーズやリソースを踏まえた国別援助計画の策定
- ・ニーズとリソースが適合する領域での協力の推進
- ・リソースが少ない分野での協力方法の検討(撤退 / 強化など)

## 大学の活動レベル

- ・独自性のある国際活動の強化と推進
- ・ニーズや自大学のリソースを踏まえた協力活動の実施